

大 莞 小 学 校 区

水の事故を防ぐための設備・用具

● 救命ポリタンク

● 救命浮き輪

▲ ステップ (はしご)

令和2年7月豪雨で冠水した道路



荒牟田・筏溝地区…水深が深い。ブロックの岸で落ちると上がれない。



吉祥・荒牟田地区…水深が深い。ブロックの岸で落ちると上がれない。

柳 川 市

このマップは令和2年8月31日の状況です。その後、改修や改善が進められています。

荒牟田地区…神社の境内の水
路。柵はつけられていない。



荒牟田・筏溝地区…水量が多く、流れが速い。水深も深い。



筏溝上地区…橋の欄干 (らんかん) は設置されているが、ガードレールのついていないすき間がある。



奥牟田東地区…水路の岸が垂直になっている。ステップがつけられている場所を確かめよう。



大藪地区…三島神社の参道にある橋。柵がつけられていない。



大藪田中地区…国営の幹線水路の水門。水深が深く、流れがあり、水量も多い。



中村地区…神社の周囲の水路。柵がつけられていない。

中村地区…ガードレールはついて
いるが、歩行者や自転車には、高さが低い。

河童にまつわるお話

日本各地には、河童にまつわるお話が多く残っています。大木町でも「堀の中に河童がいて、子どもだけで堀に行くと、河童から水の中に行きずりこまれる。」という言い伝えがありました。昔の人たちは、子どもたちが堀で遊んで水の事故にあわないように、このように言い聞かせていたのです。

